

### 3 いじめ防止対策について

学校では、毎年いじめに関する資料・アンケート結果を活用した分析を進めるとともに、研修を併せて行い、時期に応じて生徒・保護者との面談を行っています。また、真下委員の御協力で弁護士による授業を毎年行うなど、いじめをしない・させないという意識を高める取組を続けています。そして、学校運営協議会では、毎回いじめ防止対策について取り上げ、学校・家庭・地域との連携を含めた話し合いを行っています。そこでは、真下委員から法的な観点から助言・指導を受け、3者で取り組めることについて話し合い、いじめ防止へ向けて共通理解・共通認識を図っています。



今回の話し合いの中で、真下先生より、「中学校ではいじめにつながるようなことは多々あるが、その中でどういうふうにとらえ、どうやって学んでいくかが大事である。鴨志田中学校は積極的にいじめを認知して、生徒と先生が協力して対処している。いじめはないという方向にしがちの学校が多い中、素晴らしいと思う。」とお言葉をいただきました。また、「生徒や保護者のアンケート結果で、【いじめを許さない雰囲気がある】というところが高くなっている。いじめ予防授業の成果がでているのであれば嬉しいです。」とお話いただきました。



昨今、SNSやスマホでのいじめなどが増えてきているので、今後3年生のいじめ予防授業の中で取り入れていけたらと考えていますと御提案いただきました。

御家庭からも気づいたことがありましたら、いつでも御相談ください。また、御家庭でもこの機会にネットやSNSなどについて話題にしてみてください。

## その他

委員の皆様からは、「コロナ禍では、学校の様子も見ることができないことが多いが、このような時だからこそ、『学校ではどうなの？』といった親と子のコミュニケーションが重要である。」「子供が成長していく中で、中学生という時期に親子の絆を深めることは、逆に貴重な機会であり、大切にしてほしい。」と話題になりました。また、「学校は難しい時代の中で新しいスタイルを考えながら、できることを行い、可能性を探ることを子どもに伝えることができています。」とお話いただきました。他には、中学校での生徒の温かい活躍を中里北部連合町内会の「気づきの和」の活動報告にも載せさせていただきたいとお話がありました。

## おわりに

会の最後に佐藤副会長より、「学校運営協議会で感じた、地域の皆様にこんなにも温かく見守られているのだという気持ちをもっと保護者の皆さんに伝えられたらと振り返っています。」「PTA活動も縮小化の流れもありますが、本来のこどもと学校をつなぐPTAの在り方を少しずつ取り戻していきたい。」「今後も、教師・生徒・保護者がつながって行けるように橋渡しをできる温かいPTA活動につなげていきたい。」とお話がありました。

KAMONEWSとして学校運営協議会の様子をお知らせしています!

横浜市立鴨志田中学校

〒227-0033 横浜市青葉区鴨志田町536

電話: 045(961)3771

FAX: 045(961)1495

通級指導教室 045(961)8727

心の相談室[スクールカウンセラー] 045(961)3910 ※主に木曜日来室



## 令和3年度 第5回 学校運営協議会

年が明けて令和4年を迎え、今年度5回目の学校運営協議会を1月19日(火)にGoogle meet オンラインで行いました。委員の皆様全員がスムーズにつながり開催できるようになりました。真下先生も子育てに忙しい時間帯にも関わらず御参加くださいました。今回の会議では、教育活動の報告と予定、いじめ防止基本方針、そして学校評価アンケート結果について取り上げました。学校運営協議会の皆様からいただいた御意見を踏まえながら、次年度に向けて学校経営計画の見直しを行い、具体的な手立てを考えていきます。



目次:	
学校行事について 稲作活動 鎌倉遠足	1
学校評価アンケート結果報告について	2
いじめ防止対策について	3

## はじめに

戸塚会長より、新年のあいさつの後、「オミクロン株の流行により感染者数が増大している状況ですが、鴨志田中学校の3年生たちが、受験の手続きで願書の郵送などで郵便局にお訪れることが多くな



りました。陰ながら「頑張れ」と応援しています。より厳しい判断が求められる時代になりましたが、そんな状態でも鴨志田中学校は、その中でできることを模索して、子供たちの環境を整えるよう尽力していることに感謝しています。学校運営協議会として、委員各々がどのようにフォローができるかをしっかりと考えながら、残りの2カ月ほどを先



生方と一緒に支援していきたいです。」とお話をいただきました。続いて濱崎校長からは、「日頃から、地域の方々の御理解・御協力に感謝いたします。」「来年度、地域コーディネーターも二人体制

になり、心強いです。」「2月に行われる認知症サポーター養成講座では、戸塚会長や照井所長の協力もいただきます。」「真下先生の新たな著書『子ども六法練習帳』も学校で購入し学級文庫へ。」「地域運動部活動事業もようやく軌道に乗り、スポーツインストラクターのみでの部活動も始まりました。」「学校運営協議会も対面で行える状況が来ることを願っています。」等の話がありました。

## 学校運営協議会とは

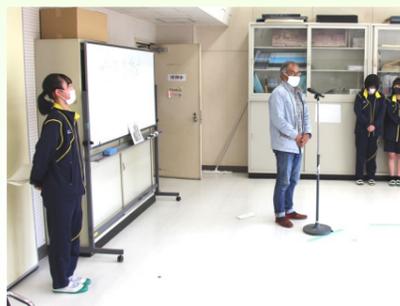
「法律に定められた権限を与えられた、地域・保護者・有識者などから構成される学校運営改善を目的として協議する組織」です。設置校数は年々数が増し、令和2年10月には横浜市内公立学校509校のうち262校に設置されています。横浜市では令和4年度末までに全校設置予定です。

本協議会では、今年度も子どもたちのために、よりよい学校づくりへ向け、学校・家庭・地域の連携を進めております。また、この協議会に「いじめ防止対策委員会」を併置し、いじめを中心に子どもたちの抱える課題について話し合い、解決を図っていきます。

学校教育目標

「感動を分かち合おう」  
「目標を高く掲げよう」  
「真理を追究しよう」

これらの目標の具現化のために方針を立て、手立てを工夫し、その結果を分析して、より高い目標へ向け次の方針を立てて取り組んでいきます。



稲作伝授式

本校では、稲作実行委員を中心に教育活動協力者の木村さんに毎年アドバイスをいただきながら、「寺家の谷戸田」で米作りに取り組んでいます。



代掻き

稲の生育を左右する大切な作業です。思ったより力があるので大変でした。心を込めて行いました。



稲刈り

どのくらい収穫できるか、わくわく稲かりをしました。今年は豊作かな！

話合いでは…

1 学校行事について

学校運営協議会では、毎回学校行事について次の協議会開催日まで実施内容のお知らせと今回までの取組の総括をしています。実施日のお知らせと結果報告だけでなく、行事实施後の反省やアンケート結果をもとに次の改善生かす手立てについて話し合っていくことを重視しています。

稲作活動報告

令和3年度もNPO法人「農に学ぶ環境教育ネットワーク」理事長の木村広夫さんの御指導のもと、実行委員18名と参加ボランティアの生徒で鴨志田米を作りました。

分散登校などコロナの関係で割愛した作業もありましたが、寺家の水、土、日光のみで栽培した完全無農薬・無肥料のお米作りに取り組んでできました。収穫祭では、会議室から校内TV放送にて、実行委員1人1人が自ら体感したことや、深く学んだことを、自分の言葉で振り返りました。その後各教室にて、新米1合を全員に配布いたしました。1年間、御協力ありがとうございました。

運営協議会委員の皆様には、今年度も活動内容と今後の方向性について御理解をいただき、これからより一層各方面

のみなさんの御理解と御協力を得ながら、地域の特性を生かした本校の特色ある教育活動の一つとして、この稲作活動を今後も継続して取り組んでいきたいと考えています。

活動スケジュール

種まき、袋詰め作業は  
コロナ禍の影響で中止

- 4月26日 稲作伝授式
- 6月1日 田植え
- 6月25日 除草
- 10月21日 稲刈り
- 11月19日 脱穀
- 12月13日 収穫祭



収穫されたお米はずっしり重みがありました。



収穫祭

木村さん御指導のもと、夏を乗り切り、寺家の光、土、水のみで栽培した完全無農薬・無肥料のお米が収穫できました。

鎌倉遠足報告

12月22日（水）に学年として初めての校外学習として鎌倉遠足に行ってきました。12月とは思えないほどの暖かい天気恵まれ、5、6名で班を組んでの班別自主行動を行いました。



鶴岡八幡宮



銭洗弁天

鶴岡八幡宮や銭洗弁天など、自分たちで決めたコースをそれぞれの班で回りました。途中、江ノ島電鉄が止まるなどハプニングはありましたが、臨機応変に対応するなど、成長した姿も見られました。

長谷寺や小町通りが人気のスポットでした。来年度の修学旅行の練習を兼ねて、中学校に入ってから初めての校外学習を行い、学年としての思

い出をつくることができました。生徒の笑顔を見ていると、やはり日ごろの成果を発揮する場面の重要性を改めて感じることができました。

お天気に恵まれた一日でした！



3クラス・バス6台に分乗して出発！！



昼食場所の近くで、『おなかすいた〜！』



小町通りでお土産を購入。



2 学校評価アンケート結果報告について

保護者の皆様からいただいた『学校評価アンケート』の集約結果と、生徒に行った授業評価の集約結果から報告しました。現在、このアンケート結果をもとに教育活動を振り返っている途中です。今年度は、保護者アンケートをGoogle form を活用したアンケートでスマホからも入力できるように工夫をしました。しかし、回答数が昨年度と同じぐらいで伸び悩んだところもあるので、やり方も含めて検討していきます。

アンケートの質問内容については、『中期学校経営方針』（学校HPでも御覧いただけます。）の内容を受ける形で『確かな学力』、『豊かな心』、『健やかな体』のような重点目標10分野について項目分けをしています。全体的には【そう思う】、【ややそう思う】と肯定的にとらえている傾向が昨年度より良くなった傾向が伺えました。『運動に親しんでいるか』に

ついては、コロナ禍の影響もあるためか低めになっていることが分かりました。今年度は、昨年度以前の状態に戻ってはいませんが、『やれること』、『できること』を探れるようになってきたことがうかがえるアンケート結果でした。アンケートの結果は、毎年見直しをしながら、経年変化も見えていけるようにし、さらに学校・家庭でできるだけ質問内容を同じくしてその捉え方の相違についても見ていけるように工夫しています。相違がある集計結果については特に着目していきます。この結果を受けて委員の皆様からいただいた御意見・御感想を踏まえて校内で結果分析を進め、来年度の学校運営改善の手立てについて考えていきます。その手立てについては、3月に行われる今年度最後の学校運営協議会で提示し、来年度学校運営の方向性について確認をいたします。